

検査項目リスト

作成日：2023/5/31
 作成者：株式会社先駆

大分類	中分類	小分類	分類No.	等級	状況	アクセシビリティ対策	プラン			
							ライト	スタンダード	アドバンス	
知覚可能	テキストによる代替	非テキストコンテンツ	1.1.1	A	状況 A：短い説明によって、非テキストコンテンツと同じ目的を果たし、同じ情報を提示できる場合：	img 要素の alt 属性を用いる		○	○	
				A		applet 要素に代替テキストを記述する				
				A		object 要素のボディに代替テキストを記述する	○	○	○	
				A		イメージマップの area 要素に代替テキストを提供する	○	○	○	
				A		非テキストコンテンツに対して、それと同じ目的を果たし、同じ情報を提供する、簡潔な代替テキストを提供する		○	○	
				A		隣り合った画像とテキストリンクを同じリンクの中に入れる			○	
				A		ASCII アート、絵文字、及びリート語に代替テキストを提供する				
				A		a要素のリンクの目的を説明するテキストリンクを提供する	○	○	○	
				A		画像のグループにある一つの画像に代替テキストを提供して、そのグループのすべての画像を説明する			○	
				A		状況 B：短い説明によって、非テキストコンテンツと同じ目的を果たし、同じ情報を提示できない場合（例：チャート又はダイアグラム）：	いずれかの方法を用いて、非テキストコンテンツの簡単な説明を提供する、簡潔な代替テキストを提供する			
				A			a.非テキストコンテンツに対して、それと同じ目的を果たし、同じ情報を提供する長い説明を提供する b.短い説明の中で長い説明のある場所を示して、非テキストコンテンツの近くにあるテキストで長い説明を提供する c.非テキストコンテンツのすぐ隣に別の場所へのリンクを置き、その別の場所で長い説明を提供する			○
				A			送信 / 実行ボタンとして用いる画像の alt 属性を使用する	○	○	○
				A		状況 C：非テキストコンテンツがコントロールである、又は利用者の入力を受け入れる場合：	いずれかの方法を用いる a.label要素を用いて、テキストのラベルとフォーム・コントロールを関連付ける b.label要素を用いることができないとき、title属性を用いてフォーム・コントロールを特定する			○
				A			以下のいずれかの方式で、非テキストコンテンツの内容が分かるラベルを提供する a.コンテンツの内容が分かるラベルを提供し、ライブの音声しか含まないコンテンツ及びライブの映像しか含まないコンテンツの目的を説明する b.非テキストコンテンツの一般に認められた名前又は内容が分かる名前を提供する			○
A	状況 D：非テキストコンテンツが時間の経過に伴って変化するメディアである場合：	代替テキストを提供して、CAPTCHAの目的を説明する			○					
A		同じ目的を果たす、異なる感覚モダリティを用いたもう一つのCAPTCHAがウェブページにあることを確認する			○					
A	状況 E：非テキストコンテンツがCAPTCHA である場合：	支援技術が無視すべき画像の img 要素は、alt属性値を空にして、title 属性を付与しない		○	○					
A		CSSで指定する画像は、装飾的なものである			○					
知覚可能	時間依存メディア	音声や映像を含む	1.2.1	A	状況 A：収録済みの音声しか含まないコンテンツの場合：	いずれかの方法を用いる a.時間の経過に伴って変化するメディアの収録済みの音声しか含まないコンテンツに対して代替コンテンツ（書き起こしテキスト）を提供する b.時間の経過に伴って変化するメディアの収録済みの音声コンテンツがテキストの代替メディアである場合は、代替メディアであることを明確にラベル付ける				
				A		状況 B：収録済みの映像しか含まないコンテンツの場合：	いずれかの方法を用いる a.時間の経過に伴って変化するメディアの映像しか含まないコンテンツに対して代替コンテンツ（書き起こしテキスト）を提供する b.重要な映像コンテンツを説明する音声を提供する c.時間の経過に伴って変化するメディアの収録済みの映像コンテンツがテキストの代替メディアである場合は、代替メディアであることを明確にラベル付ける			○
		音声のキャプション	1.2.2	A	状況 A：収録済みの音声しか含まないコンテンツの場合：	いずれかの方法を用いる a.オープン・キャプション（常に表示）を提供する b.クローズド・キャプションを提供する c.時間の経過に伴って変化するメディアの収録済みの音声コンテンツがテキストの代替メディアである場合は、代替メディアであることを明確にラベル付ける				
				A		状況 B：収録済みの映像しか含まないコンテンツの場合：	いずれかの方法を用いる a.オープン・キャプション（常に表示）を提供する b.クローズド・キャプションを提供する c.時間の経過に伴って変化するメディアの収録済みの映像コンテンツがテキストの代替メディアである場合は、代替メディアであることを明確にラベル付ける			

知覚可能	判別可能	色の使用	1.4.1	A	色の違いで伝えている情報をテキストでも入手可能にする			○	○	
				A	状況 A：ウェブコンテンツ技術が、表現によって伝えている情報及び関係性をプログラムが解釈可能にするセマンティックな構造を提供している場合：	テキストの色の違いで情報を伝える際は、視覚的な手がかりを補足する			○	○
				A	状況 B：情報を伝える画像の中で色を用いている場合：	色の違いだけで示されているリンク又はコントロールは、その文字色と周囲にあるテキストとのコントラスト比を 3:1 以上にして、フォーカスを受け取ったときには視覚的な手がかりを補足して強調する				
				A	状況 B：情報を伝える画像の中で色を用いている場合：	色とパターンを併用する			○	○
		音声制御	1.4.2	A		音声の再生を3秒以内に自動的に停止する				
				A		自動的に再生される音声を停止するコントロールを、ウェブページの先頭付近で提供する				
				A		利用者の要求に応じてのみ、音声を再生する				
		最低限のコントラスト	1.4.3	AA	状況 A：太字でないテキストが18ポイント（日本語は22ポイント）未満、太字のテキストが14ポイント（日本語は18ポイント）未満の場合：	いずれかを用いる a. テキスト（及び画像化された文字）とその背景の間に、少なくとも4.5:1以上のコントラスト比をもたせる b. 背景色及びテキストの色を指定せず、その初期設定を変更するウェブコンテンツ技術の機能を用いない c. 十分なコントラスト比のあるコントロールを提供して、利用者が十分なコントラストのある表現に変換できるようにする				○
				AA	状況 B：太字でないテキストが少なくとも18ポイント（日本語は22ポイント）以上、太字のテキストが少なくとも14ポイント（日本語は18ポイント）以上の場合：	いずれかを用いる a. テキスト（及び画像化された文字）とその背景の間に、少なくとも3:1以上のコントラスト比をもたせる b. 背景色及びテキストの色を指定せず、その初期設定を変更するウェブコンテンツ技術の機能を用いない c. 十分なコントラスト比のあるコントロールを提供して、利用者が十分なコントラストのある表現に変換できるようにする				○
		テキストのサイズ変更	1.4.4	AA		ズーム機能をサポートする一般に入手可能なユーザーエージェントのあるウェブコンテンツ技術を用いる			○	○
				AA		以下のいずれかを用いて、テキストのサイズを変更した際に、テキスト・コンテナもサイズ変更するようにする、かつ、次の実装方法の一つ以上を用いて、コンテンツにあるその他の大きさと相対的な大きさにする a. em単位を用いて、テキストコンテナのサイズを指定する b. コンテンツにあるその他の大きさと相対的な大きさにする c. テキスト・コンテナのサイズを可変にする				○
				AA		利用者がウェブページ上のすべてのテキストを200%まで徐々に変更できるコントロールをウェブページ上で提供する			○	○
				AA		文字サイズを変更しても、テキストコンテナの幅が変更されない際に、コンテンツ又は機能が損なわれないようにする			○	○
		画像化された文字	1.4.5	AA		いずれかを用いる a. CSSを用いて、テキストの視覚的な表現を制御する b. CSSを用いて、テキストを画像化された文字に置き換え、変換するユーザーインタフェースコントロールを提供する c. 情報と構造を表現から分離して、異なる表現を可能にする			○	○
				AA						
		操作可能	キーボード操作可能	キーボード操作	2.1.1	A	HTMLのフォーム・コントロール及びリンクを用いる			
A	キーボードがトリガーとなるイベント・ハンドラを提供する								○	
フォーカス	2.1.2			A	ユーザーがコンテンツ内に閉じ込められないようにする				○	
十分な時間	調整可能な制限時間		2.2.1	A	状況 A：セッションの制限時間がある場合：	次のいずれかを適用する a. 複数の画面で構成されるフォームの最初のページに、利用者がセッションの制限時間を延長又は解除できるチェックボックスを提供する b. 利用者が制限時間を解除できる手段を提供する				○
				A	状況 B：制限時間がページ上のスクリプトで制御されている場合：	次のいずれかを適用する a. 利用者が制限時間を解除できる手段を提供する b. 利用者が初期設定の制限時間を10倍に設定できる手段を提供する c. 制限時間が切れようとしていることを利用者に警告するスクリプトを提供する。利用者が初期設定の制限時間を延長できるようにする				○
				A	状況 C：コンテンツを読むのに制限時間がある場合：	a. コンテンツを一時停止させて、一時停止させたところから再開できるようにする b. 利用者が制限時間を解除できる手段を提供する				○

操作可能	十分な時間	一時停止、停止及び非表示	2.2.2	A	状況：動き、点滅、スクロール 動きのある、点滅している、又はスクロールしている情報が、(1)自動的に開始し、(2)5秒よりも長く継続し、そして(3)その他のコンテンツと並行して提示される場合、利用者がそれらを一時停止、停止、又は非表示にすることのできるメカニズムがある。ただし、その動き、点滅、又はスクロールが必要不可欠な動作の一部である場合は除く。	いずれかを用いる。 a.コンテンツを一時停止させて、一時停止させたと ころから再開できるようにする b.スクリプトを用いてコンテンツをスクロールし、 それを一時停止できるメカニズムを提供する。 c.5秒未満で点滅が終わるようにコンテンツを制作す る d.ユーザーエージェントによって点滅するコンテン ツを停止できるウェブコンテンツ技術を用いる e.数回のループ後(5秒以内)に停止するように、ア ニメーションGIFを設定する f.スクリプトを用いて、点滅を制御し、5秒以内に停 止させる g.動きのあるコンテンツ、点滅するコンテンツ、又 は自動更新されるコンテンツを停止させるコン ロールを用いる h.点滅するコンテンツのないページを読み込むリン ク、ボタン、又はその他のメカニズムを提供する				○	
				A	状況：自動更新 自動更新する情報 が、(1)自動的に開始し、(2)そ 他のコンテンツと並行して提示され る場合、利用者がそれを一時停止、 停止、もしくは非表示にする、又は その更新頻度を調整することので きるメカニズムがある。ただし、その 自動更新が必要不可欠な動作の一部 である場合は除く。	いずれかを用いる。 a.コンテンツを一時停止させて、一時停止させたと ころから再開できるようにする b.スクリプトを用いてコンテンツをスクロールし、 それを一時停止できるメカニズムを提供する。 c.5秒未満で点滅が終わるようにコンテンツを制作す る d.ユーザーエージェントによって点滅するコンテン ツを停止できるウェブコンテンツ技術を用いる e.数回のループ後(5秒以内)に停止するように、ア ニメーションGIFを設定する f.スクリプトを用いて、点滅を制御し、5秒以内に停 止させる g.動きのあるコンテンツ、点滅するコンテンツ、又 は自動更新されるコンテンツを停止させるコン ロールを用いる h.点滅するコンテンツのないページを読み込むリン ク、ボタン、又はその他のメカニズムを提供する				○	
	発作の防止	3回の閃光 又は閾値 以下	2.3.1	A		どの1秒間においても、コンテンツに3回よりも多く 閃光を放つコンポーネントがないことを確認する					○
				A		閃光を放つエリアを十分に小さくする					○
				A		ツールを用いて、コンテンツが一般閃光閾値及び赤 色閃光閾値を越えていないことを確認する					○
操作可能	ナビゲー ション可能	ブロック スキップ	2.4.1	A		コンテンツの各セクションの開始位置に見出し要素 を提供する				○	○
				A		構造を示す要素を用いて、リンクをグループ化する					○
				A		frame要素を用いて繰り返しているブロックをグ ループ化し、frame要素にはtitle属性を付与する					
			ページタ イトル	2.4.2	A		ウェブページに対して、コンテンツの内容が分かる ページタイトルを提供する				
		フォーカ ス順序	2.4.3	A		コンテンツ内の順番及び関係に従った順序で、イン タラクティブな要素を配置する					○
				A		以下のいずれかを用いて、ウェブページを動的に変 化させる：451 a.動的なコンテンツをDOMのそのトリガーとなる 要素の直後に挿入する b.デバイス非依存な方法でカスタム・ダイアログを 作成する c.DOMを用いて、ページ上にある複数のセクション を並び替える					○

操作可能	ナビゲーション可能	文脈におけるリンクの目的	2.4.4	A	<p>以下のいずれかを用いて、リンクの目的を特定する</p> <p>【1】リンクの目的を説明したリンクテキストを提供する</p> <p>a.要素のリンクの目的を説明するリンクテキストを提供する</p> <p>b.イメージマップのarea要素に代替テキストを提供する</p> <p>【2】利用者が簡潔なリンクテキスト又は長いリンクテキストを選べるようにする</p> <p>a.ウェブページの先頭近くに、リンクのラベルを変更するコントロールを提供する</p> <p>b.スクリプトを用いて、リンクのラベルを変更する</p> <p>【3】リンクテキストとそれが含まれている文章中のテキストとを組み合わせ、リンクの目的を特定する</p> <p>【4】リンクの目的の説明を補足する</p> <p>a.title属性を用いて、リンクテキストの文言を補足する</p> <p>b.CSSを用いて、リンクテキストの一部を非表示にする</p> <p>【5】プログラムで判断されるリンクの文脈と一緒にリンクの目的を特定する</p> <p>a.リンクテキストとそれが含まれているリスト項目とを組み合わせ、リンクの目的を特定する</p> <p>b.リンクテキストとそれが含まれているパラグラフとを組み合わせ、リンクの目的を特定する</p> <p>c.リンクテキストとそれが含まれているデータセル及び関連づけられた見出しセルとを組み合わせ、リンクの目的を特定する</p> <p>d.リンクテキストとその直前にある見出し要素とを組み合わせ、リンクの目的を特定する</p> <p>e.入れ子になったリスト項目にあるリンクテキストとその親のリスト項目とを組み合わせ、リンクの目的を特定する</p>	○	○	○		
		複数の到達手段	2.4.5	AA	<p>次の実装方法のうち2つ以上を用いる</p> <p>a.関連するウェブページへナビゲートするリンクを提供する</p> <p>b.目次を提供する</p> <p>c.サイトマップを提供する</p> <p>d.検索機能を提供して、利用者がコンテンツを見つけるのを手助けする</p> <p>e.他の全てのウェブページへのリンク一覧を提供する</p> <p>f.HOMEページからサイト上の全てのウェブページにリンクする</p>		○	○		
		見出し及びラベル	2.4.6	AA AA	<p>内容が分かる見出しをつける</p> <p>目的や内容が分かるラベルを提供する</p>					
		視覚的に認識可能なフォーカス	2.4.7	AA	<p>いずれかを用いる</p> <p>a.フォーカスを受け取った際に、ユーザーエージェントによって強調されるユーザーインタフェースコンポーネントを用いる</p> <p>b.CSSを用いて、ユーザーインタフェースコンポーネントがフォーカスを受けとったときの表示を変更する</p> <p>c.視認性に優れた標準のフォーカスインジケータが引き継がれるように、プラットフォーム標準のフォーカスインジケータを用いる</p> <p>d.コンテンツ制作者が提供する視認性に優れたフォーカスインジケータを用いる</p> <p>e.スクリプトを用いて、フォーカスのある要素の背景色又はボーダーを変更する</p>			○		
		理解可能	読みやすさ	ページの言語	3.1.1	A	html要素の言語属性を用いる		○	○
				部分的に用いられている言語	3.1.2	AA	言語属性を用いて、自然言語の変更を指定する			○
			予測可能	一貫したナビゲーション	3.2.3	AA	繰り返される一連のコンポーネントは毎回同じ相対的順序で提示する		○	○
一貫した識別性	3.2.4			AA	同じ機能を有するコンテンツに対して、一貫したラベル、識別名及び代替テキストを用いる					
オンフォーカス	3.2.1			A	状況の変化を生じるトリガーには、"focus"ではなく、"activate"を用いる			○		
UI・コンポーネントによる状況の変化	3.2.2	A A	<p>状況の変化を開始する実行ボタンを提供する</p> <p>状況の変化を引き起こすフォームのコントロールが変化する前に、何が起こるのかを説明する</p>		○	○				

理解可能	入力支援	入力エラー箇所 の特定	3.3.1	A	状況 A : フォームが利用者からの情報が必須である入力フィールドを含む場合	入力が完了していない必須項目を特定するために、テキストの説明文を提供する		○	○	
				A	状況 B : 利用者によって提供される情報が、特別なデータフォーマットか特定の値であることが求められる場合	以下のいずれかを用いる a. 利用者が認められた値以外の情報を提供した際に、テキストの説明文を提供する b. 利用者の入力が要求されたフォーマット又は値ではなかった際に、テキストの説明文を提供する		○	○	
		ラベル又は説明	3.3.2	A		以下のいずれかを用いて、目的や内容が分かるラベルを提供する a. データ形式および入力例を提供する b. フォーム又はテキストフィールド一式の先頭で、必須項目に関する説明文を提供する c. 入力項目とラベルの関係がよく分かるように配置する d. 未入力の必須項目を特定するための説明テキストを提供する		○	○	
				A		いずれかを用いてフォーム・コントロールを関連付ける a. label要素を用いて、テキストのラベルとフォーム・コントロールを関連付ける b. label要素を用いることができないとき、title属性を用いてフォーム・コントロールを特定する		○	○	
				AA		fieldset要素及びlegend要素を用いて、フォーム・コントロールのグループに関する説明を提供する		○	○	
				A		隣接するボタンを用いて、テキスト・フィールドの目的をラベル付けする		○	○	
		入力エラー修正 方法の提示	3.3.3	AA	状況 A : 必須のフィールドに情報が入力されていない場合 :	入力が完了していない必須項目を特定するために、テキストの説明文を提供する		○	○	
				AA	状況 B : フィールドの情報に、特別なデータフォーマットが要求される場合 :	いずれかを用いる a. 利用者の入力が要求されたフォーマット又は値ではなかった際に、テキストの説明文を提供する b. テキストの修正候補を提示する c. クライアントサイドのバリデーション及びアラートを提供する d. クライアントサイドのバリデーションを提供し、DOMを介してエラーテキストを追加する			○	
				AA	状況 C : 利用者の入力する情報は、複数の限定された値のうちの一つであることが要求される場合 :	いずれかを用いる a. 利用者が認められた値以外の情報を提供した際に、テキストの説明文を提供する b. テキストの修正候補を提示する c. クライアントサイドのバリデーション及びアラートを提供する d. クライアントサイドのバリデーションを提供し、DOMを介してエラーテキストを追加する			○	
		法的義務、金銭的取引、データ変更及び回答送信の エラー回避	3.3.4	AA	状況 A : アプリケーションで、購入又は所得税申告の提出のように、法的なトランザクションが発生する場合 :	いずれかを用いる a. フォームの送信後に、利用者が注文を変更又はキャンセルできる一定の時間を提供する b. 送信する前に、利用者が回答を確認及び修正できるようにする c. 送信ボタンに加えてチェックボックスを提供する				
	AA			状況 B : 利用者のアクションによって情報が削除される可能性がある場合 :	いずれかを用いる a. 消去した情報を元に戻せるようにする b. 選択されたアクションを続行するために確認を求める c. 送信ボタンに加えてチェックボックスを提供する					
	AA			状況 C : ウェブページに試験を実施するアプリケーションがある場合 :	いずれかを用いる a. 送信する前に、利用者が回答を確認及び修正できるようにする b. 選択されたアクションを続行するために確認を求める					
	堅牢性	互換性	構文解析	4.1.1	A		ウェブページをバリデートする	○	○	○
					A		開始タグ及び終了タグを仕様準拠に用いていることを確認する	○	○	○
					A		ウェブページが well-formed であることを確認する	○	○	○
					A		要素には重複した属性がないようにする	○	○	○
					A		ウェブページのid属性値が一意的（ユニーク）であるようにする	○	○	○

堅 牢 性	互換性	プログラ ムが解釈 可能な識 別名、役 割及び設 定可能な 値	4.1.2	A	マークアップを用いて、名前及び役割をユーザーエージェントに提供し、利用者が設定可能なプロパティを直接設定可能にし、変化を通知する				
				A	HTMLのフォーム・コントロール及びリンクを用いる				○
				A	いずれかを用いてフォーム・コントロールを関連付ける a.label要素を用いて、テキストのラベルとフォーム・コントロールを関連付ける b.label要素を用いることができないとき、title属性を用いてフォーム・コントロールを特定する				○
				A	frame要素及びiframe要素のtitle属性を用いる		○	○	○
				A	仕様に準じてHTMLを用いる	○	○	○	○
				A	DOM（ドキュメント・オブジェクト・モデル）を用いて、ページにコンテンツを追加する				○
				A	ウェブコンテンツ技術のアクセシビリティAPIを用いて、名前及び役割をUAに提供し、利用者が設定可能なプロパティを直接設定可能にし、変化を通知する				○
				A	識別名及び役割を取得し、利用者が設定可能なプロパティを直接設定可能にし、変化を通知するためにユーザーエージェントが動作する、プラットフォームのアクセシビリティAPI機能をサポートするウェブコンテンツ技術を用いて、コンポーネントを作成する				○